

武四郎
たけしろう

10年ぶり、私は27歳
ねん
わたし
さい

になつていました。

蝦夷地に向かう前に
えぞち
いちば
一度、小野江の実家に
おのえ
まひと
まえ
戻りました。



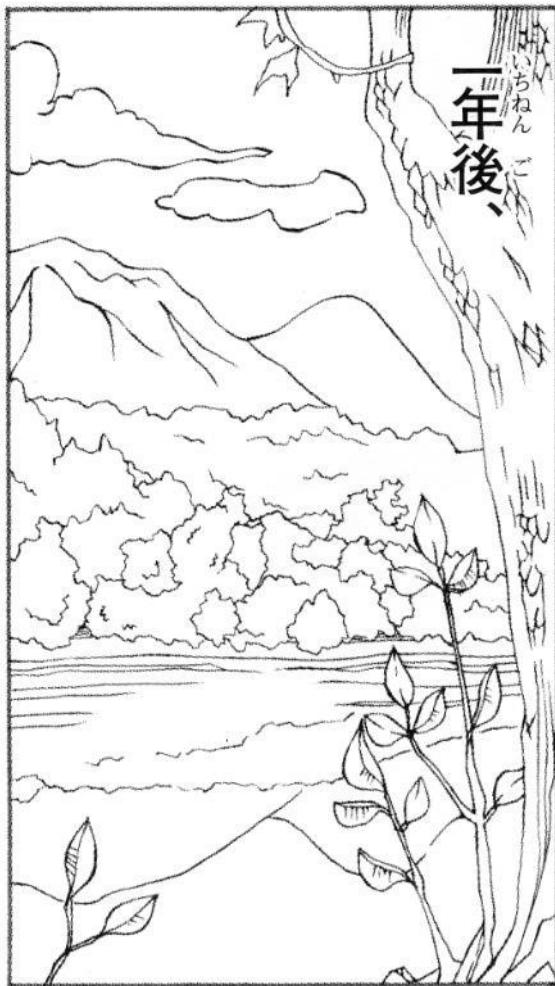
旅の報告をしました。

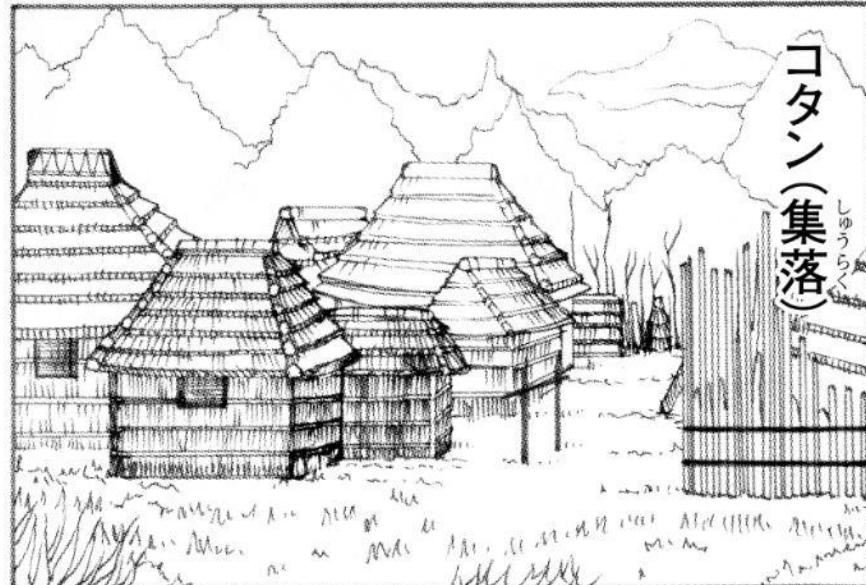


どうか見守つて
いて下さい

父上、母上
武四郎は
蝦夷地に行き
ます

こうして、私は蝦夷地を探検する
旅に足を踏み出したのです。











ひと
アイヌの人びとから、
ちゅうごく きぬ もの
中国の絹織物など



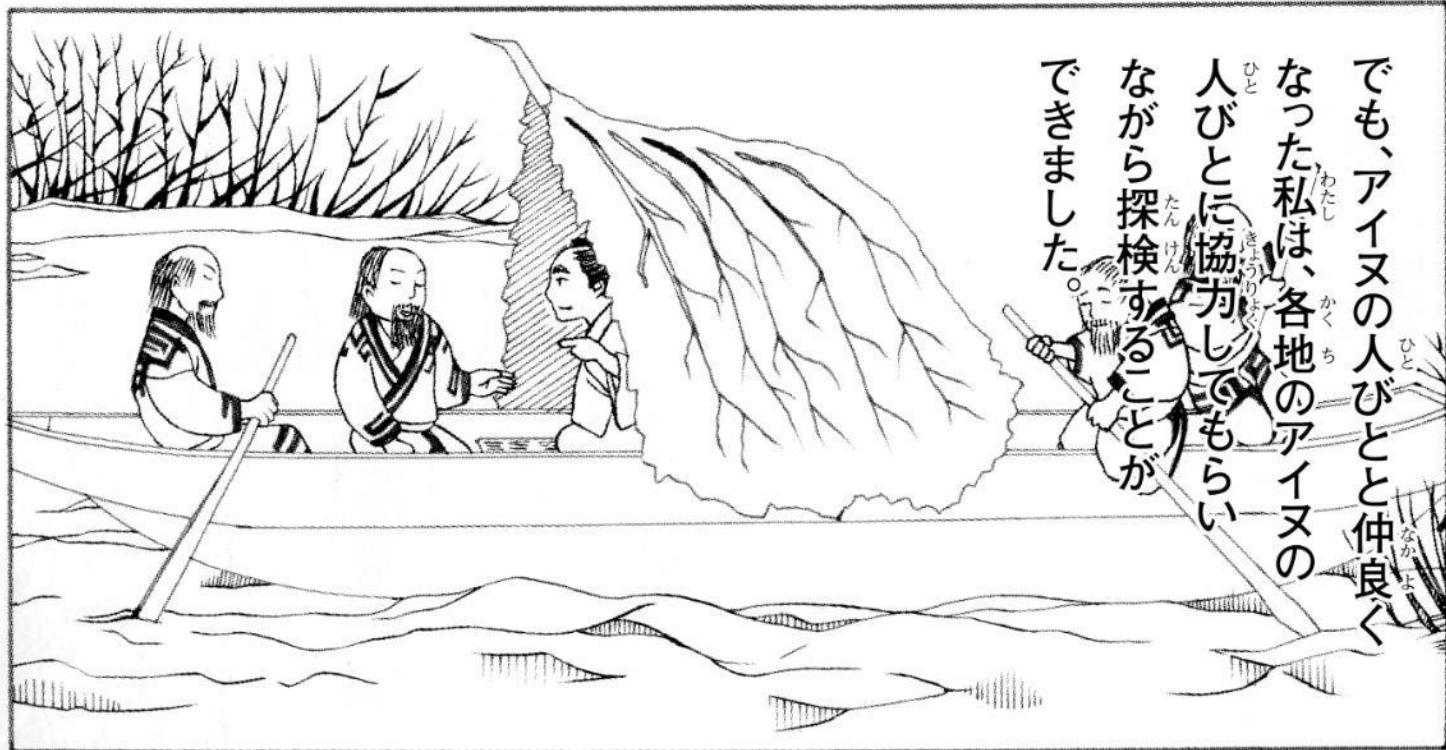
ほんしゅう
本州や中国の人びとと交易を
したりして、豊かな自然の中で
せいかつ
生活していました。



えぞち
蝦夷地の
しざん
自然是険しく、探検
たんけん
すること大変です。
なへん

わたし
私はもうひと多くのこと
をお知りするために蝦夷地を
を探検しました。





でも、アイヌの人びとと仲良くなつた私は、各地のアイヌの人びとに協力してもらいながら探検することができました。



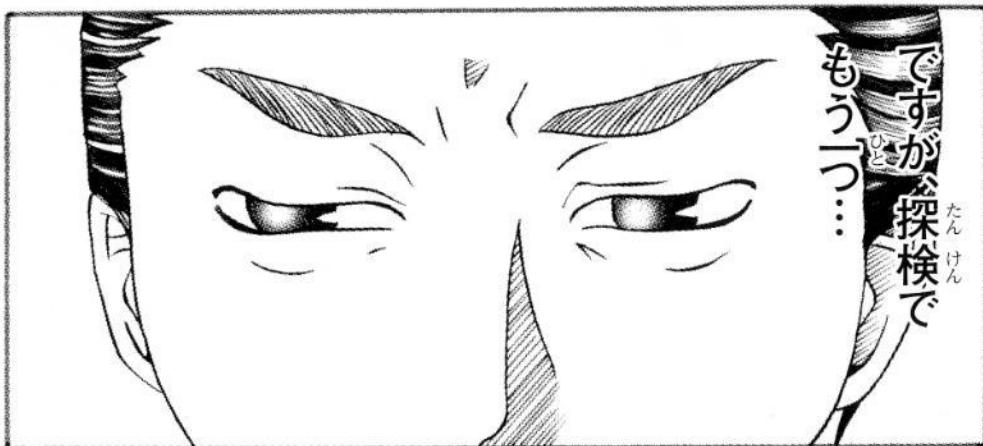
とも
友だちの頼三樹三郎と
再会しました。











アイヌの人びとは、

ひと



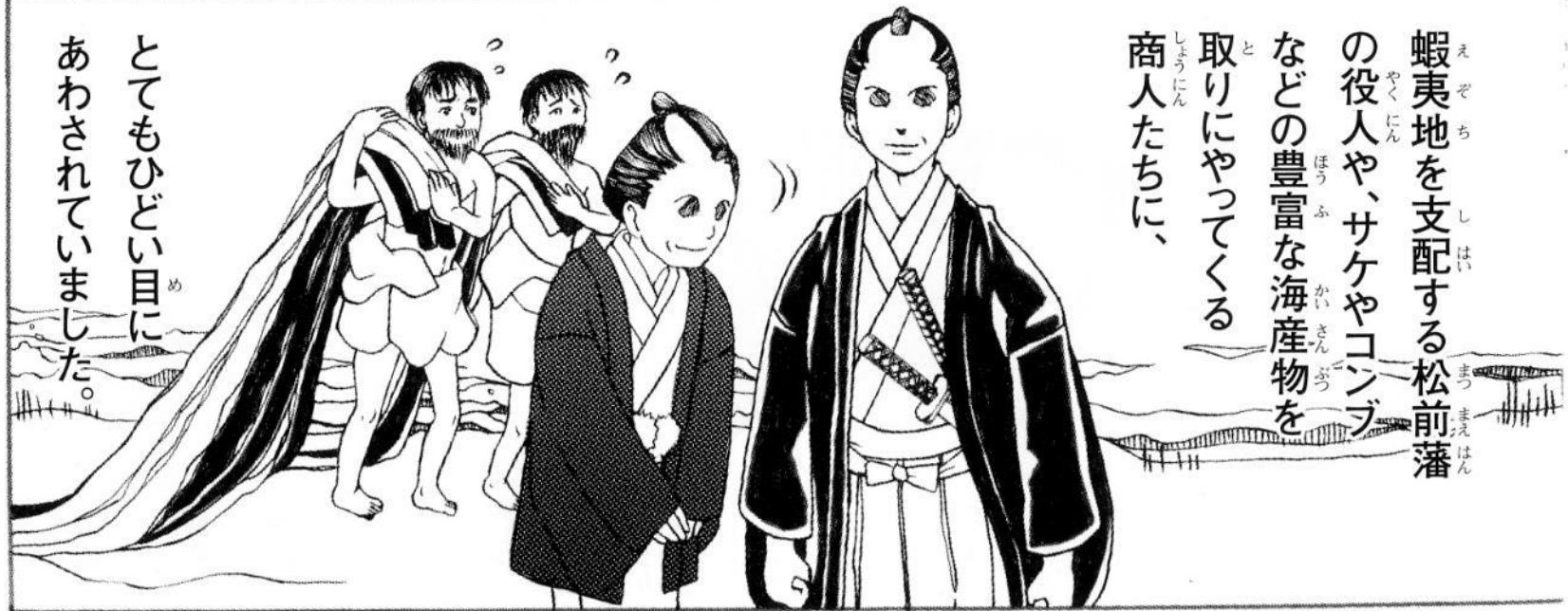
アイヌの人びとが
どんな状態に
あるのかも
私は知りました。

わたし

し

とてもひどい目に
あわされていました。

め



蝦夷地を支配する松前藩
の役人や、サケやコンブ
などの豊富な海産物を
取りにやってくる
商人たちに、

えぞち

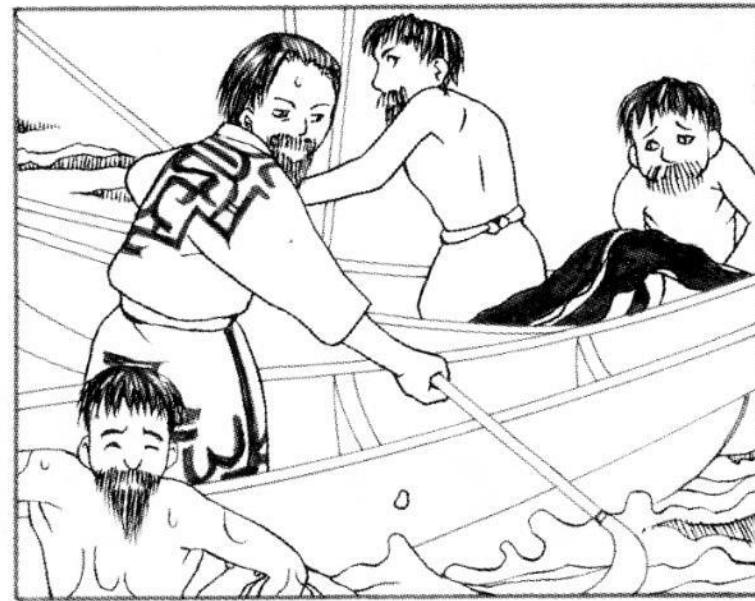
し

はい

まつ

まえ

はん





多くの役人や商人が、
文化が違うアイヌの人びとのことを理解することなく、



厳しく取り調べる

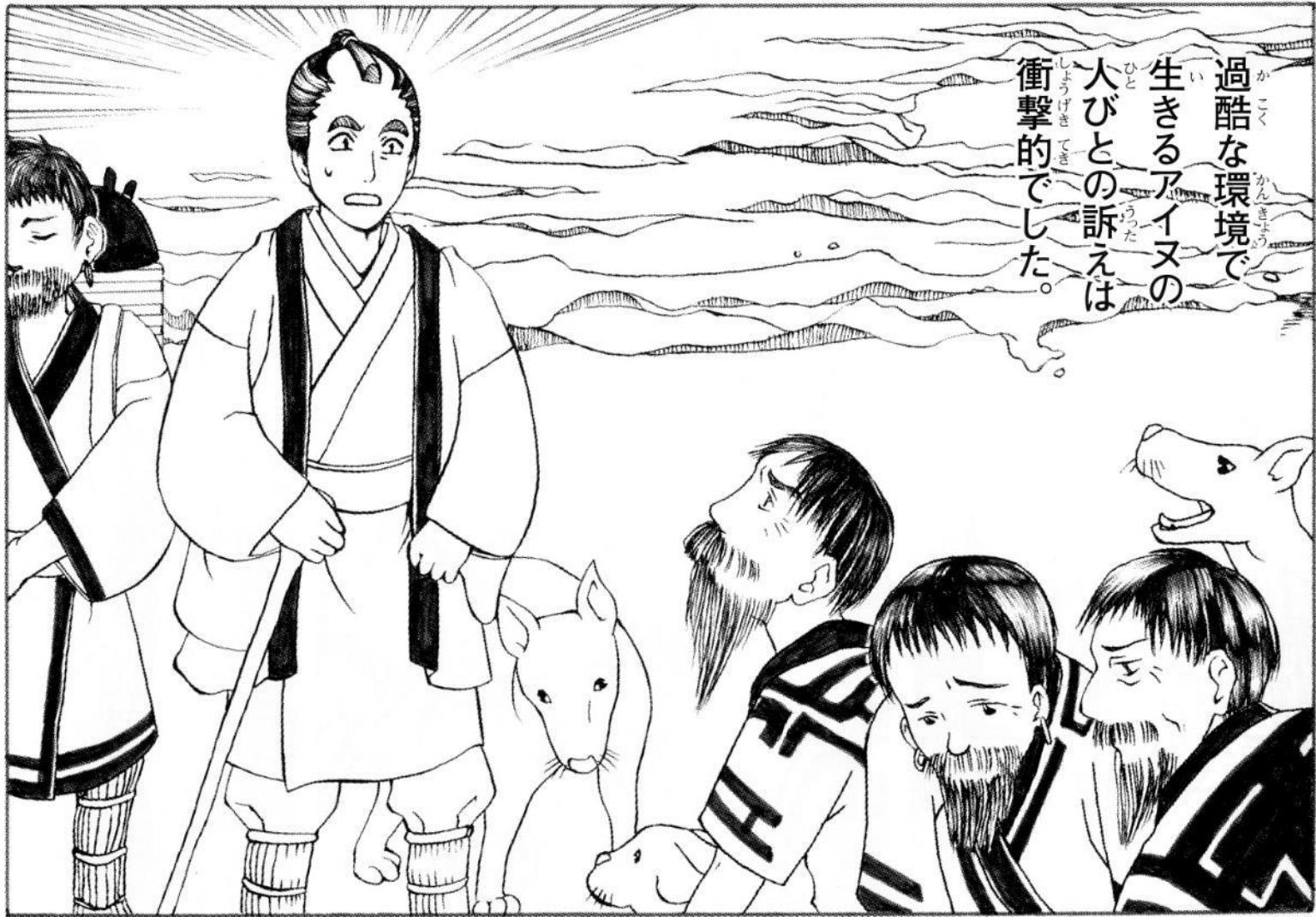
など、アイヌの人びとの
生活の自由を
奪いました。

当時のアイヌの
人びとの人口は減って
いくばかりです。

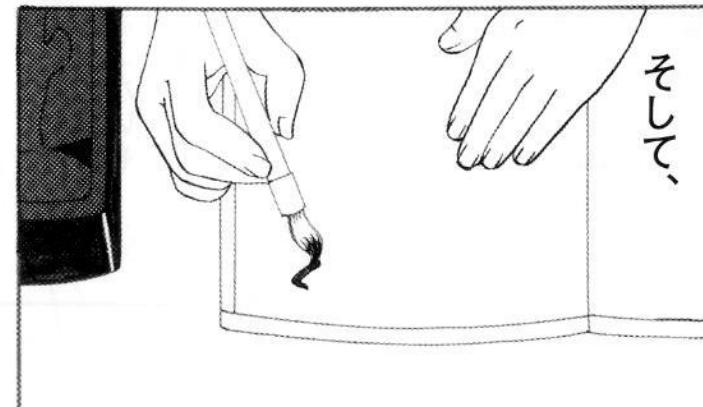
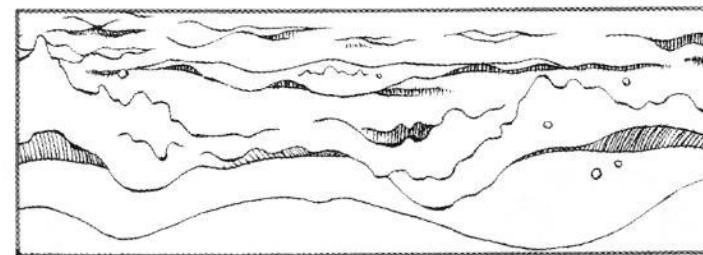
私はあちこちの
人びとからそうした
話を聽きました。



過酷な環境で
生きるアイヌの
人びとの訴えは
衝撃的でした。









アイヌの人びとの素晴らしい
文化を本に書きました。





間違まちがつたおこないを
批判ひはんし、おお多くの人ひとびとに
不正ふせいを訴うたえました

役人やくにんや商人しょうにんたちの
ひどいおこないも
ありのままに
本ほんに書きか、





